

支 部 情 報

岩国和木支部

ふるさとを愛し、夢を抱き、  
生き抜く力を育む

本支部校長会は、一市一町三十六校の校長で構成されている。支部は、南北に広がり、各地域ならではの特色も見られ、学校規模も複式学級のある学校が十五と様々である。支部では、岩国市・和木町小学校長の協調・研修を図るとともに、小学校教育の振興の充実に向けて年間十二回の研修等を行っている。特に、本年度は、「生きる力を育むことを目指す教育課程の編成と校長の役割」について、各校における学力向上の取組を理科学習に焦点を当てて研究を進めてきた。

さて、現在の学校を取り巻く課題は山積し、課題解決に向けて、コミュニケーション・スクール、地域協育ネットの構築等、学校と地域との連携が重視されている。このような中、その連携の一例として、装港小学校における取組を紹介する。

本校は、全校児童五十八名、七学級の小規模校である。平成二十年度より三年間の学校支援地域本部事業の指定を受けるなど、地域の教育力を活かした、地域とともにある学校づくりを進



(装港小学校)

中村 雅之

めている。現在も、その流れを継承し、装港寺子屋事業、地域ボランティアの積極的な活用等に取り組んでいる。装港寺子屋事業では、月一回、土曜日の午前中に地域の指導者による体験活動を計画している。そして、一学期の学びを二学期につなげていくという学びの連続性も視野に入れながら、夏休み中の学習や体験活動なども実施している。本年度は、高校生ボランティアによる学習支援も行い、児童の学習意欲も高まった。また、地域ボランティアとして、毎日の登下校の見守り活動、栽培・園芸等の体験活動の支援も受けている。児童の健やかな成長や、ふるさとを大切にしようとする気持ちの育成を願い、地域の方がしっかり学校教育に関わってくださっている。学校によって、それぞれ事情は異なるが、置かれた状況の中で、児童の夢の実現に向けて地域の方の想いを

支 部 情 報

支 部 情 報

長門支部

地域ぐるみで子どもを育む  
学校づくりを目指して

長門支部は、十一の小学校で構成されている。豊かな自然と人情の厚い地域の中で、長門市が生んだ童謡詩人「金子みすゞ」さんのまなざしと感性を基調にし、思いやりとやさしさの心の育成に、各小学校で取り組んでいる。

長門市は、「地域ぐるみで子どもを育む新しい仕組みづくりをどのように仕掛けていくか」という大きな課題に対し、地域協育ネットを活用した幼保・小・中・高の連携のあり方について、様々な立場の人々が集って熟慮し、討議を重ねることにより、保護者や教職員、住民などの地域ぐるみで子どもを育てることへの意識改革に取り組んでいる。

例えば、俵山地域では、「俵山地区合同体育祭」と題して体育祭を実施している。この体育祭では、俵山スポーツ振興会、俵山小・中学校、俵山幼稚園が主催となり、地区の代表の方々と話し合いを公民館で行う。この会の中で、子どもにとって素晴らしい体育



「模範熟議」の様子

祭となるよう知恵を出し合うことにより、地域ぐるみで俵山の子どものための健やかな身体づくりに取り組んでいる。今年の八月には、全国高等学校PTA連合会山口大会において、市内六つの「みすゞ学園」が、「食と健康」「自然と環境」「伝統と文化」の三つのテーマに分かれて「模範熟議」を開催し、大きな成果を収めた。熟議に参加したメンバーは、教職員、PTA役員、学

校運営協議会委員、市議会議員、公民館長、伝統文化に関わる団体の会長、高校生などである。この「模範熟議」において協議した結果は、長門市へ提言の形で提出された。

今後も、地域ぐるみで子どもを育む学校づくりを目指して、長門市の小学校長十一名が率先して情報の共有や連携をとり、学校経営にあたっていきな

(俵山小学校 柳江 利章)